



RI会長 ステファニー・アーチツク
2640 地区ガバナー 野村 壮吾

2024-2025年

Rotary District 2640 Japan



創立50周年
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2208 回例会

2025 年 2 月 9 日(日)

海南商工会議所集合 8:30～
清掃活動 海南クリーンアップ作戦
海南西 RC と合同



1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

省略

3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 26 名
出席義務規定適用免除会員 2 名
出席率 68.42% 前回修正出席率 81.58%

4. 会長スピーチ

会長 田岡 郁敏 君

本日は、今季、最強寒波の寒
い中、多数、ご参加いただき、有
難うございます。毎年、社会奉仕
委員会が中心となり、恒例にな
っています「海南クリーンアップ
作戦」を今年も海南西 RC と合同
で実施します。道行く通行車両、
歩行者など、沿道の多くの市民に「皆で、街をきれい
にしましょう！」とアピールしましょう。ルートは毎年同
様の、藤白神社往復となります。くれぐれも事故の無
いよう、気を付けてください。宜しくお願いします。



5. 幹事報告

省略

6. 清掃活動



7. 閉会点鐘

次回例会

第 2209 回 2025 年 2 月 17(月)

海南商工会議所 4F 12:30～



ゲスト卓話 株式会社 創成

代表取締役 西原 加奈子 様

2月は「平和構築と紛争予防月間」

四つのテスト 誰がこれにたしてから

① 真実かどうか ② 好意と友情を深められるか
③ みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか

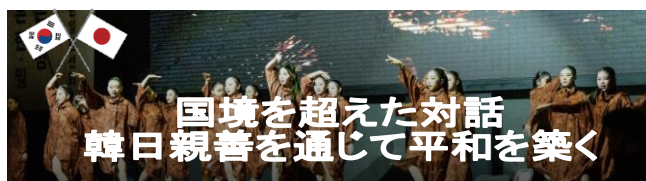


事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>
E-mail: info@kainaneast-rc.jp



両国のロータリーのリーダーが国境を越えた平和構築の機会について語る

日本と韓国のロータリアンはこれまで 40 年以上にわたり、両国間の理解と友好を深め、平和を築くことを目的に韓日親善会議（日本が開催国の場合は「日韓親善会議」）を開催してきました。新型コロナウイルスのパンデミックで 4 年間中断されていましたが、2024 年 10 月 24 日・25 日、ソウルで第 16 回韓日親善会議が開催され、日本から約 220 人のロータリアンが参加しました。また、元国連事務総長であるバン・ギムン（潘基文）氏が「世界平和とロータリー活動」について講演しました。

バン・ギムン氏は「世界的に不安定な時代には、五つの『P』、すなわち『人（person）』、『地球（planet）』、『平和（peace）』、『繁栄（prosperity）』、『パートナーシップ（partnership）』が必要であり、これらはすべてロータリーの基本的価値観です」

会議前日の 23 日、菅原裕典氏（日韓親善委員会 日本側副委員長）とホン・キホ氏（韓日親善委員会 韓国側副委員長）をソウル市内の Rotary Center にお招きし、両国間の交流における両氏のかかわり、両国のこれまでの協力と今後のビジョンについてお話しいただきました。



会議の前日、ソウル市内で対談した菅原裕典氏（日韓親善委員会 日本側副委員長。写真左）とホン・キホ氏（韓日親善委員会 韓国側副委員長）

Q: これまで日韓の交流にどのようにかかわってこられましたか。

菅原: 私も家族も韓国が大好きなので、以前から 1 年に 1 回は必ず（韓国に）来ていました。私のクラブの姉妹クラブがソウルにあり、友好で行ったり来たりするようになりました。その一つのステップアップとして、私の地区（第 2520 地区）とホンさんの地区（第 3640 地区）の姉妹地区での交流もあります。2019 年には私の地元、仙台で日韓親善会議が開催され、多くのロータリアンが参加しました。そして今、さらなるステップアップとして、日韓親善委員会副委員長として全国レベルで日韓親善にかかわっています。

ホン: 私も姉妹地区としてずっと参加してきました。友情をもって親しい関係を築いてきたので、心では日本

と韓国のロータリアンを区別できないほどです。私だけではなく、地区の大勢の会員、特にクラブで姉妹関係を持っている会員は、日本の会員と家族みたいに行ったり来たりして友情を築いています。そこで私が得たものは、お金で手に入るものではありません。

韓国側の韓日親善委員長であるキム・カンテさんが一番尊敬しているのが、日韓親善に力を捧げていた第 2520 地区の故菅野多利雄さんです。菅野先生がいろんな奉仕をなさっていたのを、キム委員長も私も見ていました。ですから、なんとしても韓日親善会議を引き継いでいきたいと考えています。

菅原: 今回の会議には日本からロータリアンが 220 名くらい出席しますが、もっと多くの人に韓日親善にかかわってほしい。今回の親善会議は、来る人は旅費もかかるし、時間も取って来なければならないけれど、これはただの旅行とは違います。この素晴らしい経験を、入会してきた人たちにも同じように感じてもらえたらと思うのです。

ホン: ロータリーの哲学と目的が全体に行きわたっている。考え方、生き方が同じだから。田中作次元会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」でしたが、戦争がないことが平和ではありません。平和とは、一人の人から始まって、段々と拡大するものです。それがロータリーの目的であり、私がロータリーに感謝する理由でもあります。

菅原: 2011 年の東日本大震災では、世界各地から支援がありましたが、特に姉妹地区、姉妹クラブの関係があった韓国の方々からは相当な義援金をいただきました。私も、韓国で何かあれば心配するし、すぐにメールを送ったり連絡したりします。いろんな意味で国の政治的な問題はありますが、韓国と日本のロータリーの交流が限りなく続くことが、国を超えた平和につながると思います。

Q: 韓日親善会議以外に、韓国と日本のロータリアンはどのように協力していますか。

菅原: 10 月 25 日、韓国と日本のロータリアンが集まって、ポリオの T シャツを着て地域清掃をします。これは重要で大きなメッセージになると思います。単なる友好から一歩前進した形と言えます。

ホン: 昔は日本から韓国、その後、神戸地震や東日本震災の時には韓国から支援を行いました。お金だけでなく精神的なものでもあります。現在、日本と韓国は、ロータリーで会員数や寄付額において世界トップレベルにあります。日韓でどこかを支援するという合同プロジェクトをしたら、もっと良いかと思います。

2月23日はロータリー創立記念日

